

## 街路樹点検の効率化に向けた実証実験を開始します！

### ～三井住友建設株式会社と協定締結～

横浜市では、倒木や落枝などの事故を未然に防ぐため、職員および専門家（樹木医）による街路樹点検を実施していますが、近年、倒木や落枝による事故が全国的に発生しており、取組の強化が求められています。

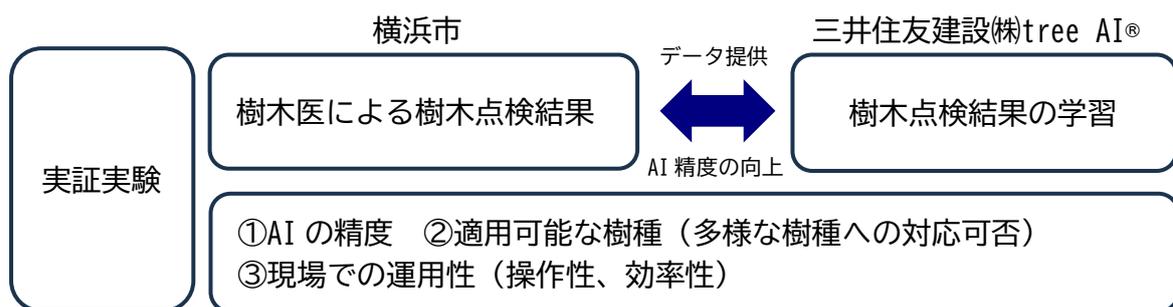
このたび、樹木リスク評価システム「tree AI®（ツリーアイ）」の活用について、三井住友建設株式会社（東京都中央区）と協定を締結し、実証実験を開始します。

#### 実施概要

本市は、多数の街路樹を管理しており、樹種や路線特性に応じて点検の優先順位を設定しています。倒木等が発生しやすい8種の樹木<sup>(※1)</sup>や、緊急輸送路一次路線の高木は、樹木医が点検を行い、その他の街路樹は、職員が定期的に点検しています。しかし、倒木リスクの高い樹木の早期把握や、限られた予算の中で効率的な点検体制の構築が課題となっていました。

そこで、共創フロント（フリー型フロント）<sup>(※2)</sup>に提案があった、樹木リスク評価について、tree AI®による点検結果と、樹木医による点検結果との比較評価を行い、AIの精度や業務への導入可能性などを検証する実証実験を行います。あわせて、過年度に本市が実施した樹木医による点検結果をtree AI®に学習させ、AIの精度向上を図ります。

将来的には街路樹点検における効率的なスクリーニング体制の構築を目指します。



(※1) 倒伏等が発生しやすい8種：エンジュ、ケヤキ、サクラ類、シダレヤナギ、ニセアカシア、プラタナス類、ポプラ類、ユリノキ

(※2) 共創フロント（フリー型フロント）とは、民間事業者の皆様が、横浜市との公民連携を希望する事業やアイデア等を、テーマを問わず自由に提案できる仕組みです。詳細は下記 URL をご覧ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/kyoso/kyosofront/front/front.html>

裏面あり



**GREEN × EXPO 2027**  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



## 樹木リスク評価システム「tree AI® (ツリーアイ)」の特徴

樹木リスク評価システム「tree AI® (ツリーアイ)」は、樹木医などの専門家が目視で行っている樹木の初期リスク評価（スクリーニング）について、AI の画像解析技術を活用して、倒木・落枝の恐れがある危険木を自動で判定するシステムです。

### <主な特徴>

- 撮影するだけでAI がリスクを自動判定
- 専門知識や特殊機器不要
- 短時間で大量の樹木を点検可能
- 特殊な機器は不要で、インターネット接続されたPC・スマホ・タブレットで利用可能
- 点検結果をクラウドで一元管理、リアルタイムに閲覧可能なデジタル台帳

\*デジタル台帳機能は本実証実験の対象外



図：AI リスク評価画像(イメージ)

お問合せ先		
道路局施設課長	小島 岳生	Tel 045-671-3557



**GREEN×EXPO 2027**  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

